

鉄道ピクトリアル

2005年6月号 Vol.55 No.6 通巻No.762

<特集> 鉄道と博覧会輸送

■表 紙 愛知万博のアクセス輸送を担う鉄道…………編集部

(上)「リニモ」万博会場 2005-3-30/(下)「エキスポシャトル」万博八草
2005-3-30/(右)愛知環状鉄道2000系 濱戸市—濱戸口 2005-3-29

■カラ一

光あふれる未来へ(1~5ページ)

北村 博・中島正樹・佐藤利生・近藤伸雄・千葉恵一
飯塚卓治・三ッ谷政久・渡邊裕太郎・川波伊知郎

「愛・地球博」に見る鉄道アクセス(6~8ページ)

飯塚卓治・岸 義則・編集部
小田急電鉄50000形VSEデビュー/日立電鉄全線廃止/のと
鉄道能登線廃止/名古屋鉄道岐阜地区600V線区全廃/JR
東日本E531系/JR九州883系リニューアル車/愛知高速交
通が開業/伊豆急行8000系/三陸鉄道36-601「さんりく
しおさい」/井原鉄道IRT355-201「夢やすらぎ」ほか

73~80

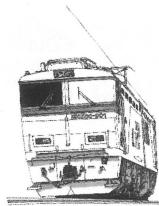
■グラフ

大阪万博開催時の新幹線特急券	所蔵と解説:長谷川優一	33
博覧会・オリンピック開催時の鉄道輸送場面	構成:編集部	34
「愛・地球博」開幕	構成:編集部	40
日本初の磁気浮上式リニアモーターカー路線		
愛知高速交通“Linimo”	写真提供:愛知高速交通	42
D51その一族—1115分の1の素顔—(73)	構成:編集部	44
城東貨物線の工事状況と現状	山中 茂	46
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)		81
JRグループ2005年3月1日ダイヤ改正から	構成:編集部	88
新前橋電車区の183系	静 拓志	90
京阪神地区 冬の修学旅行臨2005年	松 橋 均	92
JR西日本 高岡鉄道部への転入車/三岐鉄道で事故復旧訓練		
	杉下浩生/斎藤幹雄	93
神戸電鉄 最近の話題	米倉裕一郎	94
オタワのO-Train	宇都宮淨人	96

■本文

今月の話題:鉄道と博覧会輸送	編集部	9
博覧会と鉄道—電車・HSSTを中心に—	松永 直幸	10
博覧会輸送の国鉄臨時列車あれこれ	寺本 光照	20
EXPO'70と万博輸送	山田 亮	50
つくば科学博輸送の頃	猪口 信	56
*		
愛知高速交通 東部丘陵線“Linimo”的概要	澤田浩次郎	28
鉄道の話題	編集部	49
JR東海・JR西日本N700系量産先行試作車	田中 守・吉江則彦	62
オタワのO-Train—BRTからLRTへの第一歩	宇都宮淨人	70
書評(500)『内燃動車発達史』上巻:戦前私鉄編	和久田康雄	97
東京都交通局10-300形・10-300R形	草刈 元夫	98
ブリル1からブリル97-ER台車の調査(2)	白井 昭	102
回想 わたしの鉄道趣味史(6) 本務遂行が精一杯で趣味活動は不調		
—旅行も写真撮影もままならぬ5年間—	中川 浩	106
3月のメモ帳		110
読者短信・情報ファイル		111
後部車から		115

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru



カット:山本茂樹

今月の話題

鉄道と博覧会輸送

今年3月25日から9月25日まで2005年日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県長久手町、豊田市、瀬戸市で開催されている。日本で開催される国際博覧会としては1990年に大阪で開催された国際花と緑の博覧会(特別博覧会)以来であり、一般博覧会としては1970年に同じく大阪で行われた日本万国博覧会以来35年ぶりの開催となる。博覧会は地域や風土によるものなど、テーマや規模はさまざまであるが、国際博覧会は1851年のイギリス・ロンドン万国博覧会を嚆矢として世界各国で開催してきた。そうした博覧会においては、テーマを問わずに、鉄道・交通システムがいろいろなかたちで関わりを有していることを再認識してみたいものである。展示物としての新しいシステム、観客輸送と鉄道の役割といった面から見ると鉄道システムの歴史に新たな興味が垣間見られるのである。

一方、観客輸送を担う鉄道の体制といった面も面白味が多い。入場者数6,421万人に達した1970年の大阪万博では、各地から大阪へ、また大阪圏内で多彩な臨時列車が運行され、国鉄輸送史を語る上でも欠くことができない記録となっている。1985年のつくば万博においても同様で、規模としては大阪万博には及ばないが輸送形態はきわめて興味深く、波動輸送の一大プロジェクトとして、価値ある事例と言える。今回の愛知博では新規開業の「Linimo」、およびJR東海と愛知環状鉄道などが体制を整えて観客輸送にあたっている。大阪万博などの傾向は、鉄道の状況を含めて今日では大きく様変わりした感が強く、趣味的な輸送の魅力は高くはないが、博覧会と鉄道輸送の関わりを概観できる貴重なステージであり、注目してみたいと思う。

TETSUDŌ TOSHO KANKOKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawa-machi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan